



# 卒業おめでとうございます

学校長 村越 新

本日、入間市立扇小学校第51回卒業証書授式を迎えることができました。卒業生は、3月18日の予行でも、5年生に立派な姿を見せることができました。

六年間支えていただいた保護者の皆様、地域の皆様には、心よりお喜びのことと思います。ご卒業、おめでとうございます。

卒業生及び保護者の皆様にとって令和2年2月28日は忘れられない日であったはずです。小学校生活に希望を抱き、入学式を待ち望んでいたであろうこの日、首相の記者会見がありました。そこで、三月からの臨時休校が知らされます。四月の入学式も中止になり、臨時休校、分散登校で、全員が揃った時には、すでに暑い夏でした。

感染防止の生活、学級閉鎖、縮小・中止される行事などなど、思い描いていたものとはまるで違う小学校生活だったでしょう。「密になれない」窮屈な学校生活は、3年生まで続けました。「集団として行動する意識」が育つ大事な三年間は、「**感染防止**」が中心のものとなってしまいました。

令和5年度、コロナが5類と認定されたのを機に、本校でも本格的に授業を「学び合い」中心へとシフトしました。日々の授業で活発な学び合いが始まるとともに、本日の卒業生も持ち前のエネルギーを存分に発揮するようになりました。“学び合いで得たものは何か”の問いに「**学びの本当の楽しさ**を知ったこと」と回答してくれた子が複数人いたことが、学びの充実を物語っていると考えたいです。

卒業生136人は、誰も予想できない未来を切り開いてくれると、私は信じています。小学校生活同様に、自走していつてくれると確信しています。その根拠が3つあります。まずは、学校生活の中で多くの「**問い**」を自らで生み出したからです。また、運動会のテーマを『**笑って泣いて新たな扉走り抜け**』としてくれたからです。

さらに市内音楽会で「**ひろい世界へ**」をすばらしい歌声で合唱してくれたからです。仲間と作り上げたこの歌の詞を忘れないでほしいです。

ぼくらのまえには ドアがある  
いろんなドアが いつもある  
ドアを 大きく あけはなそう  
ひろい世界へ 出ていこう



## 校長との会談より「卒業を控えた今の気持ちは？」

- 【寂しさ】**
- ・ 悲しい、六年間通った学校だから、お別れだから
  - ・ 寂しい、一年生やみんなと楽しくしてきたので、会えなくなるから
  - ・ 寂しい、小学校は短かった、昨日入学したみたいにアツという間だった
  - ・ 6年生が一番たのしかったので、悲しい
  - ・ おいしい給食が食べられなくなるのが悲しい
  - ・ ここで六年間勉強したから寂しい、忙しくなると、扇小に行くことができなくなりそうなので など
- 【喜び】**
- ・ とってもうれしい、中学生にあこがれていたのだから
  - ・ 6年間いい思い出ばかりだったので、卒業するのはうれしい
  - ・ やっと卒業できる！ 小学校は長かった、早く卒業したい など
- 【期待】**
- ・ 部活や、新しい勉強が楽しみ
  - ・ 小学校6年間がとても楽しかったのだから、中学も楽しみ
  - ・ 違う学校からくる人と友達になれそうで楽しみ
  - ・ 修学旅行、京都に行くのが楽しみ
  - ・ 楽しみ、一人で登校できるし、朝ゆっくりできるし
  - ・ 部活が楽しみ、いろんなことを学べそうだから
  - ・ 中学校のいろんな教室が楽しみ など
- 【不安】**
- ・ 新しい友達ができるか心配、友達に支えられてやってきたのだから
  - ・ 卒業したくない。中学校はめんどくさい。授業が難しそう
  - ・ 中学で、提出物を出せるか、不安 など
- 【目標】**
- ・ 中学校では、提出物をちゃんと出したいと思っている
  - ・ 中学校ではオール3以上はとりたい
  - ・ 中学校に行っても頑張っても、課題を残さないようにしたい
  - ・ 中学に行って、新しい友達を作りたい
  - ・ 頑張る。提出物も評価に入ると聞いているので、しっかり出したい
  - ・ 今までのことを忘れずにがんばっていききたい
  - ・ 中学生として真面目にやりたい、特に勉強をがんばる
  - ・ 中学で通用するように、人間関係をつくりたい など
- 【その他】**
- ・ 思い返せる卒業式にしたい。思い出を作りたい
  - ・ ドキドキしている。卒業式には親も来るので、ちゃんとできるか・・・ など